

第6学年1組 外国語科 学習指導案

実施期間 令和〇年〇月

指導者 〇〇 〇〇

1 単元の構想

Unit5 He is famous. She is great. (Here We Go! 6 p.60~69)

単元終了後の子どもの姿	自分が選んだ世界で活躍する日本人について、聞き手が興味を持ってくれるよう工夫して紹介している。互いに紹介した人物のよさを認め合い、さらに効果的な表現ができるよう工夫しようとしている。 将来、他者を紹介する際に自信をもってコミュニケーションが行えるようになっている。		
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
単元の目標	主語+動詞+目的語の文や He [She] is...の文を用いて、自分が尊敬する人や憧れの人について紹介することができる。	自分が選んだ世界で活躍する人について、友だちの意見も参考にしながら、相手の反応を意識して紹介することができる。	自分が選んだ世界で活躍する人について、友だちの意見も参考にしながら、相手の反応を意識して紹介しようとしている。
目標に向かうための手立て	○「3つのポイント」×「子どもが主体のICT」 【めあて】 児童が人物紹介を行う相手や目的を意識し、自分の考えや気持ちを伝え合うためには、どのような工夫が必要であるかに視点を置いためあてを設定する。また、人物紹介という単元末の課題につながる毎時のめあてを共有し、目標達成に向かう言語活動に取り組むようにする。 【振り返り】 授業支援アプリやフォーム作成アプリを活用し、子どもができるようになったことや、未解決の課題、新たに生じた課題を蓄積するようにする。その蓄積したものを振り返ることで、次時につなげるように促す。また、言語活動の中間で振り返りを行うことで、伝える内容の充実を図るようにする。 【対話】 授業支援アプリに提出したプレゼンを共有し考えを広げたり、自他の意見をシンキングツールに整理したりすることで、他者の意見も生かして課題解決できるようにする。		
実態子どもの35人の	約8割の児童が、好きなものやほしいものを口頭で伝えたりしながら自己紹介することができる。	目的や場面、状況に応じて、表情やジェスチャー、声量を工夫し自己紹介ができると答えた児童は約7割である。	協力して言語活動を行うことができるが、友だちの工夫点等をそのまま真似をしている児童が多い。

単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと[発表] ①主語+動詞+目的語などの英語の文構造や、He [She] is...などの表現について理解している。 ②世界で活躍する人について知るために、その人の職業や性格、どのような活躍をしているかなどを伝え合う技能を身に付けている。	話すこと[発表] ①世界で活躍する人について、その人の職業や性格、どのような活躍をしているかなどを伝え合っている。	話すこと[発表] ①世界で活躍する人について、その人の職業や性格、どのような活躍をしているかなどを伝え合おうとしている。
聞くこと ③主語+動詞+目的語などの英語の文構造や、He [She] is...などの表現について理解している。 ④世界で活躍する人について知るために、その人の職業や性格、どのような活躍をしているかなどを聞き取る技能を身に付けている。	聞くこと ②世界で活躍する人について知るために、その人の職業や性格、どのような活躍をしているかなどを聞き取り理解している。	聞くこと ②世界で活躍する人について知るために、その人の職業や性格、どのような活躍をしているかなどを聞き取り理解しようとしている。

指導と評価の計画（6時間取り扱い ●本時5/6）				
課題等	次	時	主たる学習活動	評価する内容と方法等
自分が選んだ、世界で活躍する日本人を紹介しよう。	1	1	○アニメーション映像を通じて、本単元のトピックや語彙に触れる。	※記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。活動において、教師が児童の学習状況を確認する。
	2	2	○好きなものやほしいものなどを伝える言い方を知る。 ○好きなものやほしいものなどを伝える。	
	3	2	○有名人の職業や性格などを紹介する言い方を知る。 ●有名人の職業や性格などを紹介する。	【知】①、②、③、④ 観察 【思】①、② ワークシート
		1	○ALTに向けて、自分が選んだ世界で活躍する日本人を紹介する。	【思】①、② 【主】①、② 観察、ワークシート、振り返りシート

2 本時の授業計画

(1) 本時の目標

選んだ有名人の職業や性格などが相手に伝わるように、英語の表現を工夫して紹介することができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (★言語活動)	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◎評価	備考 ・ICT機器等
導入	10	1 前時に学んだことを振り返る。 Let's chant. Let's play.	○前の時間に学習したことを振り返ってみましょう。 ○職業や性格の表現を確認して、すぐに使えるようにしましょう。 ・言い方を思い出せた。	○話し方の工夫を問うことで、紹介する人のよさを伝えるきっかけを作る。	指導者用デジタル教科書 ピクチャーカード
	展開	25	2 めあてをつかむ。	○前の時間の振り返りから、今日のめあてを作りましょう。	○子どもの言葉からめあてを設定する。
選んだ有名人の職業や性格をよりよく伝えるために、工夫して紹介しよう。					
3 有名人の人物当てクイズをする。★ Let's try.		○選んで描いてきた有名人の似顔絵を手元に準備しましょう。 モデル対話 T: Look at this picture. S: Oh, good picture. T: She is a tennis player. She can speak English. S: I got it! She is Osaka Naomi.	○子どもが発表したい人物を選ぶように働きかける。 ○使う英語が難しい場合は、簡単な表現を提示し、用いるように促す。	ワークシート	
4 自分が紹介した有名人の職業を書く。★		○慣れ親しんだ言い方を英語で書いてみましょう。 ・英語で書くとこんなふうになるんだな。 ・英語で書けて嬉しい。	◎【思】①、② 人の職業や性格を工夫して伝え合っている。 ○職業名の一覧を必要に応じて提示し、スムーズに書けるようにする。	学習用デジタル教科書	
終末	10	5 まとめと振り返りをする。	○使った似顔絵を写真で撮って、授業支援アプリで提出しましょう。 ○次はどんな工夫ができそうですか。 ・できるようになったことで次にやってみたいこと、新たに生まれた課題を書いている。	○フォーム作成アプリで振り返りを行う場面を設定し、次時に生かすことができるようにする。	フォーム作成アプリ

1 単元の構想

Unit5 He is famous. She is great. (Here We Go! 6 p.60~69)

単元終了後の姿	自分が選んだ世界で活躍する日本人について、聞き手が興味を持ってくれるよう工夫して紹介している。互いに紹介した人物のよさを認め合い、さらに効果的な表現ができるよう工夫しようとしている。 将来、他者を紹介する際に自信をもってコミュニケーションが行えるようになっている。		
単元の目標	知識及び技能 主語+動詞+目的語の文構造や、He [She] is...の文を用いて紹介することができる。	思考力、判断力、表現力等 自分が選んだ世界で活躍する人について、友だちの意見も参考にしながら、相手の反応を意識して紹介することができる。	学びに向かう力、人間性等 自分が選んだ世界で活躍する人について、友だちの意見も参考にしながら、相手の反応を意識して紹介しようとしている。

単元(題材)終了時の児童(生徒)の姿

- ・CAN-DOリストも参考にしながら、この単元で身に付いた力を、これからの学習や実生活、将来にどのように生かそうとする子どもを育成するのを示す。
- ・文末表現例「…ようとしている」「…している」等

子ども35人の	のやほしいものを口頭で伝えたりしながら自己紹介することができる。	表情やジェスチャー、声量を工夫し自己紹介ができると答えた児童は約7割である。	とができるが、友だちの工夫点等をそのまま真似をしている児童が多い。
---------	----------------------------------	--	-----------------------------------

単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと【発表】 ①主語+動詞+目的語などの英語の文構造や、He [She] is...などの表現について理解している。 ②世界で活躍する人について知るために、その人の職業や性格、どのような活躍をしているかなどを伝え合う技能を身に付けている。	話すこと【発表】 ①世界で活躍する人について、その人の職業や性格、どのような活躍をしているかなどを伝え合っている。	話すこと【発表】 ①世界で活躍する人について、その人の職業や性格、どのような活躍をしているかなどを伝え合おうとしている。
聞くこと ③主語+動詞+目的語などの英語の文構造や、He [She] is...などの表現について理解している。 ④世界で活躍する人について知るために、その人の職業や性格、どのような活躍をしているかなどを聞き取る技能を身に付けている。	聞くこと ②世界で活躍する人について知るために、その人の職業や性格、どのような活躍をしているかなどを聞き取り理解している。	聞くこと ②世界で活躍する人について知るために、その人の職業や性格、どのような活躍をしているかなどを聞き取り理解しようとしている。

課題等	と評価の計画(6時間取り扱い ●本時5/6)	主たる学習活動	評価する内容と方法等
1	1	コミュニケーション映像を通じて、本単元のトピックや語彙を学ぶ。	※記録に残す評価は行わない
2	2		
3	3		
1	1		

課題等

目的・場面・状況を明確にし、主体的な学習につながる言語活動を設定する。

2 本時の授業計画

(1) 本時の目標

選んだ有名人の職業や性格などが相手に伝わるように、英語の表現を工夫して紹介することができる。

教師の支援

- ・子どもを主体として、本時のめあてに迫ろうとする支援を表記する。
- ・文末表現「～を促す」「～になるように働きかける」等

○教師の支援	備考
◎評価	・ICT機器等
○話し方の工夫を問うことで、紹介する人のよさを伝えるきっかけを作る。	指導者用デジタル教科書
○子どもの言葉からめあてを設定する。	ピクチャーカード
○子どもが発表した人物を選ぶように働きかける。	授業支援アプリ
○使う英語が難しい場合は、簡単な表現を提示し、用いるように促す。	電子黒板
○子どもが発表した人物の職業や性格を工夫して伝え合っている。	ワークシート

本時の言語活動

学習活動の中で、言語活動となる場面に★をつける。

単元(題材)の評価規準

- ・文頭に、領域を明示する。
- ・1観点到2領域程度で表記する。
- ・単元の目標を、子どもと共有できる表現で書く。

本時の評価

「Bと判断する状況」を具体的に明示する。